



2021年1月20日

各 位

会社名 株式会社テ・ウェスタン・セラビ°テクス研究所  
代表者名 代表取締役社長 日高 有一  
(コード番号:4576)  
問合せ先 経営企画室長 山北 真子  
TEL 052-218-8785

## 眼科手術補助剤「DW-1002」のカナダにおける承認取得のお知らせ

当社開発品である眼科手術補助剤「DW-1002」は、サブライセンスアウト先の Dutch Ophthalmic Research Center International B.V. (以下、「DORC」) が内境界膜剥離を適応症として、Health Canada (カナダ保健省) より承認取得した旨の連絡を受けましたので、お知らせいたします。

本剤は、既に欧州・米国等において、DORC によって製造・販売されております。カナダにおいては、TissueBlue™の製品名で、2021年秋頃から販売開始される予定です。本剤がカナダで販売開始されますと、当社は DORC から契約に基づく実施料を受領いたします。

なお、本件によるマイルストーンの受領はありませんが、2021年12月期の業績に与える影響は、2021年2月12日公表予定の「2020年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で開示する2021年12月期の業績予想に織り込む予定です。

### DW-1002 について

当社は、九州大学の研究グループが発見した BBG250 (Brilliant Blue G-250) という染色性の高い色素を主成分とした眼科手術補助剤について、独占的ライセンスを受けております。

日本以外の全世界向けの独占的なサブライセンスは DORC に付与しており、DORC は、実用化に向けた開発を進め、この眼科手術補助剤を完成させました。この製品は、BBG250 の高い染色性を利用して、眼内にある内境界膜を安全に染色し、眼科手術における内境界膜剥離を行いやすくするものです。2010年9月から欧州等において販売開始し、2020年4月から米国において販売開始しております。

一方、日本国内については、わかもと製薬株式会社 (以下、「わかもと製薬」) に眼科手術用途の内境界膜染色及び白内障手術時の水晶体前囊染色についての独占的サブライセンスを付与しており、わかもと製薬が製造販売承認の取得に向けて開発を進めています。

以 上